

出生率向上への環境整備は

具体策が求められる



いけうち ひろみち 議員
池内 弘道

出生率向上への取り組みは、保育や検診、医療などの子育て支援策、雇用創出対策による所得向上への取り組み、また、出会いの場の創出など、いろいろな具体策が求められている。

を行い、独身男女の出会いのきっかけづくりを官民が連携して取り組むこと。
2つ目に、妊娠、出産および子どもの健康のための環境整備を行うため、妊婦・乳児一般検診検査事業の実施、そして、医療費の経済的負担軽減を図るため、乳幼児医療費補助事業、小中学生の児童医療費助成事業、ひとり親家庭医療費助成制度の充実などを掲げている。

問 9月議会において、「出生率の向上には、環境整備や、子育て支援策の充実、安定した雇用、収入の増など、さまざまな要因がある。当町が、財政的な負担に耐えられるかどうか、今後、検討していきたい」との答弁だったが、その後の検討は。

また、第3子以降の出産祝い金や出産一時金の増額、保育料の無料などの考えは。

答 松田 副町長

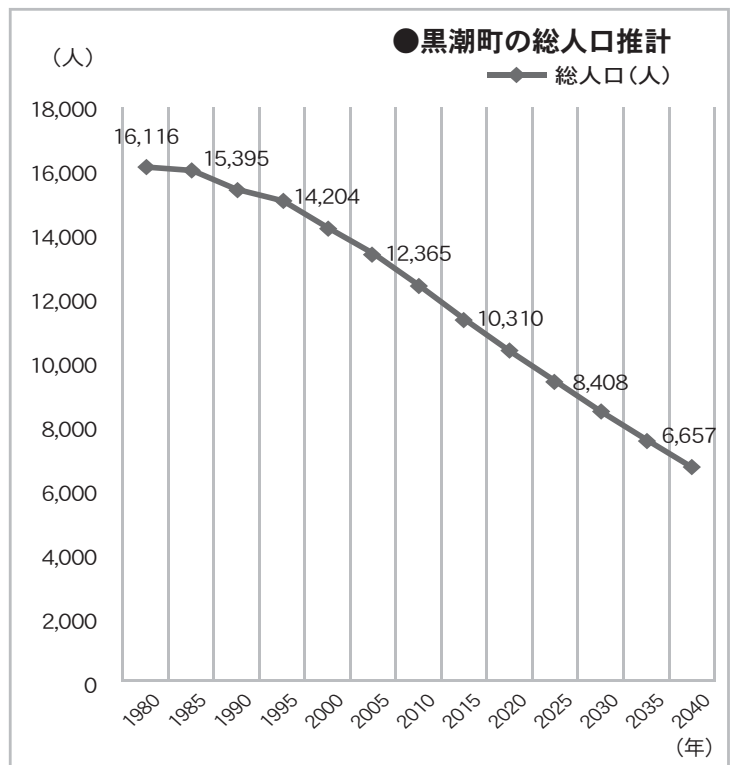
人口増への対策としての出

黒潮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の2に新しい人の流れをつくることとして、転出を抑制し、安心して住み続けてもらうための具体策として、医療費助成事業や出産祝い金、ならびに出産育児一時金などの計画がされている。また、基本目標3に若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるとしている。

1つ目に、黒潮町ならではの環境を生かし、婚活事業等のまちづくり、まちおこし活動を実施する団体に対して支援をし、若者が交流創出事業

3つ目に、子育て支援策の充実を図るため、第3子以降3歳未満児の保育料等の軽減、乳児保育、一時あずかり、土曜日保育の実施などの保育サービスの充実、保育の質の向上のための保育士の研修事業の実施、家庭支援保育士、障がい児加配保育士の配置、放課後の子どもの居場所づくりなどを計画している。

この原案を基に、平成28年1月策定に向けて協議を進めている。また、完成後も必要な財源確保も検討し、費用対効果なども検証しながら、現在実施している事業に新規事



業を追加して、予算として提案をしていきたい。

答 大西町長

第3子以降の保育料についても、条件付きで免除になつている。現在、政府が国策として完全無料実施を検討しているので注視をしている。この第3子以降の取り扱いについては時間を頂きたい。

また、出生率向上のためには、アイデアの段階で切り捨てることはあつてはならないと思つている。どのような選択肢があるのか、その中には、当然無償化も含まれている。ただし、現在、大型事業が短期的に集中しており財源的な均衡を図るためには、住民に対する説明責任が生じる。無償化については、慎重に検討していきたい。